

令和3年度 石田悠YOU塾 第2回学習会

令和3年10月13日(水)
午後1時30分～3時

工場見学 伊達地方衛生処理組合

消費生活センター出前講座

参加者12名

最近の生活の中で、ゴミの廃棄に対することや、ゴミの再生に対するいろいろなニュースがありますね。そこで、今回は、伊達市の現状を勉強しようということで、伊達地方衛生処理組合に見学に行きました。



まずは、燃えるゴミがあつめられる
ゴミピットを見せてもらいました。
ここに集められた燃えるごみは、クレーン
によって、焼却炉内に運ばれます。
今日は、燃えるごみの収集日がすくな
かったのか、あまりたまっていませんでした。

焼却炉は4炉あるそうですが、1つは故障
中で、3炉が燃えています。一日16時間
燃えて3炉で150トン焼却出来るそうです。

クレーンの操作は中央制御室で人間が行います。



焼却した灰は、施設内にある埋め立て処分場に運ばれます。しかし、あと何年かのうちには、そこもいっぱいになってくるそうです。



ここには、ペットボトル、びん、廃プラスチック、の資源化施設、粗大ごみの処理施設もあります。ここでは、機械だけでなく、人間の手で行う分別の仕事があります。





詳しい説明や、資料もいただき、大変有意義な
学習会になりました。
衛生処理組合の方がたには、どうもありがとうございました。

けんがくして、ゴミを出すときは、もっと分別には
気を付けて、後処理が簡単にすむようにしなければ
と思いました。

